

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-271871

(43) 公開日 平成7年(1995)10月20日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F 1

技術表示箇所

G 0 6 F 19/00

G 0 6 F 15/ 26

審査請求 未請求 請求項の数12 F D (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平6-85645

(22) 出願日 平成6年(1994)3月31日

(71) 出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72) 発明者 由良 彰之

東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72) 発明者 平野 誠治

東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(72) 発明者 松村 秀一

東京都台東区台東一丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

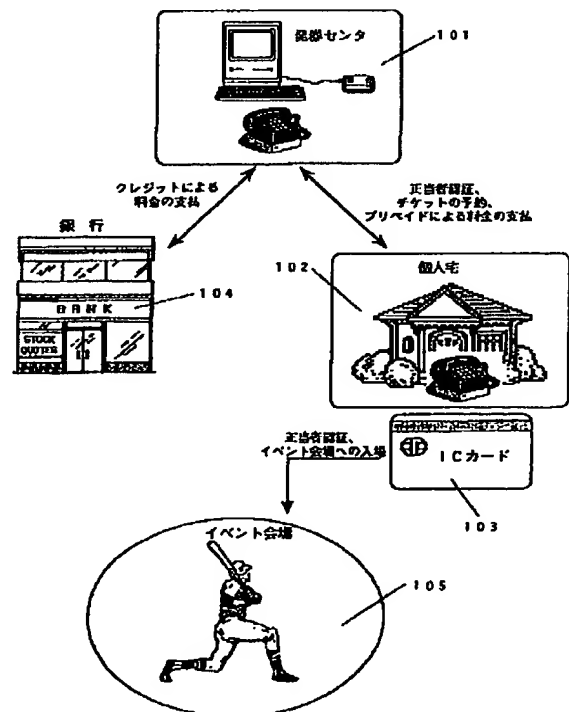
(74) 代理人 弁理士 安倍 逸郎 (外1名)

(54) 【発明の名称】 興行場予約システムおよび興行場予約方法

(57) 【要約】

【目的】 興行場への不正入場を防止するとともに、興行場の入場または座席の予約に要する労力を軽減する。

【構成】 個人宅102に設置された個人端末から通信回線を介して発券センタ101に対してイベントの入場の予約を行う。予約がなされると、個人端末はICカード103にイベントの予約を表すデータを書き込むとともに、ICカード103の残高データから入場料金を引き落とす。後日、予約者はICカード103をイベント会場に持参し、イベント会場側コンピュータにICカード103を挿入する。ICカード103に正当な予約がなされたことを示すデータが書き込まれている場合のみ、イベント会場側コンピュータはゲートを開き予約者の入場を許可する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 データ記憶部およびデータ処理部を備え、データ処理部を介してデータ記憶部にデータの読み書きを行う可搬型データ担体と、興行場の予約データを通信系に送出する発券センタ側コンピュータと、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込む個人端末とを備えたことを特徴とする興行場予約システム。

【請求項2】 データ記憶部およびデータ処理部を備え、データ処理部を介してデータ記憶部にデータの読み書きを行う可搬型データ担体と、興行場の予約データを通信系に送出する発券センタ側コンピュータと、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込む個人端末と、可搬型データ担体に書き込まれた予約データに基づき、興行場への入場の許可を判断する興行場側コンピュータとを備えたことを特徴とする興行場予約システム。

【請求項3】 データ記憶部およびデータ処理部を備え、データ処理部を介してデータ記憶部にデータの読み書きを行う可搬型データ担体と、興行場の予約データおよび入場料金データを通信系に送出する発券センタ側コンピュータと、予約データおよび入場料金データを通信系を介して受信し、可搬型データ担体に予約データを書き込むとともに、可搬型データ担体に書き込まれた残高データから入場料金データを差し引く処理を行う個人端末とを備えたことを特徴とする興行場予約システム。

【請求項4】 請求項3記載の個人端末は、可搬型データ担体のデータ処理部が可搬型データ担体所有者の正当性を認証したことを条件に、残高データから入場料金データを差し引く処理を行うことを特徴とする興行場予約システム。

【請求項5】 データ記憶部およびデータ処理部を備え、データ処理部を介してデータ記憶部にデータの読み書きを行う可搬型データ担体と、興行場の予約データを通信系に送出する発券センタ側コンピュータと、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込む個人端末とを備え、発券センタ側コンピュータは、可搬型データ担体所持者の口座から入場料金を引き落とす処理を行うことを特徴とした興行場予約システム。

【請求項6】 請求項5記載の発券センタ側コンピュータは、可搬型データ担体のデータ処理部が可搬型データ担体所有者の正当性を認証したことを条件に、可搬型データ担体所持者の口座から入場料金データを引き落とす処理を行うことを特徴とする興行場予約システム。

【請求項7】 可搬型データ担体に書き込まれた予約デ

ータに基づき、興行場への入場の許可を判断する興行場側コンピュータを備えたことを特徴とする請求項3～請求項6のいずれかに記載の興行場予約システム。

【請求項8】 発券センタ側コンピュータから興行場の予約データを通信系に送出し、個人端末は、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込むことを特徴とする興行場予約方法。

【請求項9】 発券センタ側コンピュータから興行場の予約データを通信系に送出し、個人端末は、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込み、興行場側コンピュータは、可搬型データ担体に書き込まれた予約データに基づき、興行場への入場の許可を判断することを特徴とする興行場予約方法。

【請求項10】 発券センタ側コンピュータから興行場の予約データおよび入場料金データを通信系に送出し、個人端末は、予約データおよび入場料金データを通信系を介して受信し、可搬型データ担体に予約データを書き込むとともに、可搬型データ担体に書き込まれた残高データから入場料金データを差し引く処理を行うことを特徴とする興行場予約方法。

【請求項11】 請求項10記載の個人端末は、可搬型データ担体のデータ処理部が可搬型データ担体所有者の正当性を認証したことを条件に、可搬型データ担体に書き込まれた残高データから入場料金データを差し引く処理を行うことを特徴とする興行場予約方法。

【請求項12】 発券センタ側コンピュータから興行場の予約データおよび入場料金データを通信系に送出し、個人端末は、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込み、発券センタ側コンピュータは、可搬型データ担体所持者の口座から入場料金を引き落とす処理を行うことを特徴とする興行場予約方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は興行予約システムに関し、詳しくはICカード等の可搬型データ担体に記録したデータの照合等を行うことにより、興行場の予約および入場許可等を行う興行予約システムおよび興行場予約方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 イベント等の興行場への入場の許可を判断する方法としては、従来より係員がチケットの有無により判断するのが一般的であった。また、一部においてチケットに設けられた磁気データ記録部を読み取ることにより、入場の許可の判断を行う方法も用いられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、チケッ

トの有無を判断する前者の方法にあっては、チケットの偽造が容易になされ、不正な入場が多発していた。特に、近年のカラーコピー技術の進歩により、真偽の区別がつかない程の精巧な偽造を行うことが可能となり、不正な入場は増加傾向にあった。磁気データを読み取る後者の方法によっても、市販の装置を用いて磁気カードに記録された磁気パターンの読み取りおよび書換え等が容易になされ、不正入場者が後を絶たなかった。

【0004】また、現在の興行場の予約システムとしては、電話予約によるものが一般的である。すなわち、予約者は電話によりイベントの予約を行い、イベント主催者は予約番号を記録しておく。そして、後日、予約者は決められた期日までにプレイガイドに出向き、料金と引き換えにチケットを受け取っていた。しかしながら、このような従来の興行場予約システムにあっては、予約者は電話予約の後にプレイガイドに出向かなければならないため、予約に要する時間および労力は膨大なものであった。さらに、電話予約はされたものの、期日までにチケットの交換がなされなかった場合には、キャンセルによりイベント主催者は不利益を蒙ることになる。

【0005】

【発明の目的】そこで、本発明は、興行場への不正入場を防止するとともに、興行場の予約を容易に行うことのできる興行場予約システムおよび興行場予約方法を提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、データ記憶部およびデータ処理部を備え、データ処理部を介してデータ記憶部にデータの読み書きを行う可搬型データ担体と、興行場の予約データを通信系に送出する発券センタ側コンピュータと、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込む個人端末とを備えたことを特徴とする興行場予約システムである。

【0007】請求項2記載の発明は、データ記憶部およびデータ処理部を備え、データ処理部を介してデータ記憶部にデータの読み書きを行う可搬型データ担体と、興行場の予約データを通信系に送出する発券センタ側コンピュータと、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込む個人端末と、可搬型データ担体に書き込まれた予約データに基づき、興行場への入場の許可を判断する興行場側コンピュータとを備えたことを特徴とする興行場予約システムである。

【0008】請求項3記載の発明は、データ記憶部およびデータ処理部を備え、データ処理部を介してデータ記憶部にデータの読み書きを行う可搬型データ担体と、興行場の予約データおよび入場料金データを通信系に送出する発券センタ側コンピュータと、予約データおよび入場料金データを通信系を介して受信し、可搬型データ担体に予約データを書き込むとともに、可搬型データ担体に書き込まれた残高データから入場料金データを差し引

く処理を行う個人端末とを備えたことを特徴とする興行場予約システムである。

【0009】請求項4記載の発明は、請求項3記載の個人端末は、可搬型データ担体のデータ処理部が可搬型データ担体所有者の正当性を認証したことを条件に、残高データから入場料金データを差し引く処理を行うことを特徴とする興行場予約システムである。

【0010】請求項5記載の発明は、データ記憶部およびデータ処理部を備え、データ処理部を介してデータ記憶部にデータの読み書きを行う可搬型データ担体と、興行場の予約データを通信系に送出する発券センタ側コンピュータと、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込む個人端末とを備え、発券センタ側コンピュータは、可搬型データ担体所持者の口座から入場料金を引き落とす処理を行うことを特徴とした興行場予約システムである。

【0011】請求項6記載の発明は、請求項5記載の発券センタ側コンピュータは、可搬型データ担体のデータ処理部が可搬型データ担体所有者の正当性を認証したことを条件に、可搬型データ担体所持者の口座から入場料金データを引き落とす処理を行うことを特徴とする興行場予約システムである。

【0012】請求項7記載の発明は、可搬型データ担体に書き込まれた予約データに基づき、興行場への入場の許可を判断する興行場側コンピュータを備えたことを特徴とする請求項3～請求項6のいずれかに記載の興行場予約システムである。

【0013】請求項8記載の発明は、発券センタ側コンピュータから興行場の予約データを通信系に送出し、個人端末は、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込むことを特徴とする興行場予約方法である。

【0014】請求項9記載の発明は、発券センタ側コンピュータから興行場の予約データを通信系に送出し、個人端末は、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体に書き込み、興行場側コンピュータは、可搬型データ担体に書き込まれた予約データに基づき、興行場への入場の許可を判断することを特徴とする興行場予約方法である。

【0015】請求項10記載の発明は、発券センタ側コンピュータから興行場の予約データおよび入場料金データを通信系に送出し、個人端末は、予約データおよび入場料金データを通信系を介して受信し、可搬型データ担体に予約データを書き込むとともに、可搬型データ担体に書き込まれた残高データから入場料金データを差し引く処理を行うことを特徴とする興行場予約方法である。

【0016】請求項11記載の発明は、請求項10記載の個人端末は、可搬型データ担体のデータ処理部が可搬型データ担体所有者の正当性を認証したことを条件に、可搬型データ担体に書き込まれた残高データから入場料

10

20

30

40

50

金データを差し引く処理を行うことを特徴とする興行場予約方法である。

【0017】請求項12記載の発明は、発券センタ側コンピュータから興行場の予約データおよび入場料金データを通信系に送出し、個人端末は、通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体書き込み、発券センタ側コンピュータは、可搬型データ担体所持者の口座から入場料金を引き落とす処理を行うことを特徴とする興行場予約方法である。

【0018】

【作用】請求項1記載の発明において、予約者が通信系を介して発券センタ側コンピュータに対して興行場の予約を先ず行う。すると、発券センタ側コンピュータは興行場の予約に関する予約データを通信系に送出する。予約者の自宅等に設置された個人端末は可搬型データ担体に対して予約データを書き込む。これにより、予約者は、店頭に出向かなくとも興行場の予約を行うことができ、興行場の予約に要する労力を軽減することが可能となる。

【0019】請求項2記載の発明において、予約者は、先ず通信系を介して発券センタ側コンピュータに対して興行場の予約を行う。発券センタ側コンピュータは予約データを通信系に送出し、個人端末は受信した予約データを可搬型データ担体書き込み。後日、予約者は可搬型データ担体を興行場に持参し、興行場側コンピュータに可搬型データ担体を挿入等する。興行場側コンピュータは、可搬型データ担体書き込まれた予約データに基づき、興行場への入場の許可を判断する。これにより、興行場への不正入場を未然に防止することが可能となる。

【0020】請求項3記載の発明において、予約者は、先ず通信系を介して発券センタ側コンピュータに対して興行場の予約を行う。発券センタ側コンピュータは予約データおよび入場料金データを通信系に送出し、個人端末は受信した予約データを可搬型データ担体書き込むとともに、可搬型データ担体書き込まれた残高データから入場料金データを差し引く。すなわち、自宅に居ながら興行場の予約を行うことができるとともに、入場料金の支払いをも行うことができる。したがって、本発明によれば、興行場の予約に要する労力を軽減することが可能となる。

【0021】請求項4記載の発明において、請求項3記載の個人端末は、可搬型データ担体のデータ処理部が可搬型データ担体所有者の正当性を認証したことを条件に、残高データから入場料金データを差し引く。これにより、不正者が他人の可搬型データ担体を利用して入場料金の支払い等をするのを防止することができる。

【0022】請求項5記載の発明において、発券センタ側コンピュータは、予約者の口座から入場料金を自動的に引き落とすことが可能である。これにより、入場料金

を支払うのに要する労力を軽減することができる。

【0023】請求項6記載の発明において、請求項5記載の発券センタ側コンピュータは、可搬型データ担体のデータ処理部が可搬型データ担体所有者の正当性を認証したことを条件に、可搬型データ担体所持者の口座から入場料金データを引き落とす処理を行う。したがって、本発明によれば、不正者が他人の可搬型データ担体を利用して他人の口座から入場料金を引き落とす等の不正行為を防止することができる。

10 【0024】請求項7記載の発明において、請求項3～請求項6のいずれかに記載の興行場予約システムは、可搬型データ担体書き込まれた予約データに基づき、興行場への入場の許可を判断する興行場側コンピュータを備えている。これにより、不正入場者を未然に防止することが可能である。

【0025】請求項8記載の発明において、発券センタ側コンピュータから興行場の予約データを通信系に送出し、個人端末において通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体書き込む。これにより、興行場の予約を容易に行うことができる。

20 【0026】請求項9記載の発明において、発券センタ側コンピュータから興行場の予約データを通信系に送出し、個人端末において通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体書き込む。後日、予約者は可搬型データ担体を興行場に持参し、興行場側コンピュータは可搬型データ担体書き込まれた予約データに基づき興行場への入場の許可を判断する。したがって、本発明によれば、興行場への不正入場を防止することが可能となる。

30 【0027】請求項10記載の発明において、発券センタ側コンピュータから興行場の予約データおよび入場料金データを通信系に送出し、個人端末は予約データおよび入場料金データを通信系を介して受信する。そして、個人端末は可搬型データ担体予約データを書き込むとともに、可搬型データ担体書き込まれた残高データから入場料金データを差し引く処理を行う。これにより、入場料金の支払いに要する労力を軽減することができる。

40 【0028】請求項11記載の発明において、請求項10記載の個人端末は、可搬型データ担体のデータ処理部が可搬型データ担体所有者の正当性を認証したことを条件に、残高データから入場料金データを差し引く処理を行う。本発明によれば、他人の可搬型データ担体を利用した入場料金の支払いを防止することが可能である。

50 【0029】請求項12記載の発明において、発券センタ側コンピュータから興行場の予約データおよび入場料金データを通信系に送出し、個人端末において通信系を介して受信した予約データを可搬型データ担体書き込む。そして、発券センタ側コンピュータは、可搬型データ担体所持者の口座から入場料金を引き落とす処理を行

う。これにより、興行場の予約および入場料金の支払いに要する労力を軽減することができる。

【0030】

【実施例】以下、本発明の一実施例に係る興行場予約システムを図面を参照しながら説明する。

【0031】図1は、本実施例に係る興行場予約システムの概念図である。この図において、符号101は各種イベントの入場券を発行する発券センタ101であり、符号102は個人宅を表している。また、符号104は銀行、符号105はイベント会場を表している。予約者は通信回線を介して個人宅102から発券センタ101に対してチケットの予約、プリペイドによる料金の支払い等を行うことが可能である。また、発券センタ101からは、銀行104に対して予約者の口座からチケットの料金の引き落とし等を行うことができる。イベントの予約がなされ、かつ、料金の支払いが完了した場合には、予約者の所持するICカード103に正当な入場者であることを示すデータが書き込まれる。そして、予約者がICカード103をイベント会場105に備えられた端末に挿入すると、端末はICカード103の所持者が正20
 当な予約者であることを確認した上でゲートを開く。これにより、正当な予約者のみがイベント会場105のゲートを通過することができ、不正入場者を排除することが可能となるものである。

【0032】図2は、本実施例に係る興行場予約システムの概略構成図である。発券センタ側コンピュータ201、個人端末202、銀行側コンピュータ204、イベント会場側端末205は通信回線210を介して接続されている。発券センタ側コンピュータ201は、各種イベントの予約、入場料金の受取等の処理を行うものである。個人端末202は、通信回線210との間でデータの送受信を行うモデム、ICカード103に対してデータの読み書きを行うリーダー等により構成されている。また、銀行側コンピュータ204は、予約者の口座から料金の引き落とし等の処理を行うコンピュータシステムにより構成されている。イベント会場側端末205はイベント会場に備えられたものであって、ICカード103の所持者が正当な予約者であるか否かを確認し、ゲートの開閉等を行う機能を備えたものである。

【0033】以上のように構成された興行場予約システムの作用を図3、図4のフローチャートを参照しながら説明する。

【0034】図3のフローチャートは予約処理を表している。このフローチャートにおいて、予約者は、個人宅102から発券センタ101に対して、先ず電話によりチケットの予約を行う(S101)。予約者が会員用のICカード103を所持し(S102でYES)、かつ、個人宅102に個人端末202がある場合(S103でYES)には、予約者は個人端末202にICカード103を挿入する(S104)。

【0035】一方、予約者が会員用のICカード103を所持していない場合(S102でNO)には、発券センタ101において予約番号を記録しておき(S112)、後日予約者に対して会員用のICカード103を発行する(S113)。ICカード103を受け取った予約者は、このICカード103を店頭に備えられた端末に挿入し(S114)、予約番号等のデータを入力する(S115)。

【0036】また、会員用のICカード103を所持しているが、自宅に端末がない場合(S103でNO)には、発券センタ101において予約番号を記録しておく(S116)。そして、後日、予約者は店頭に出向き、店頭に備えられた端末に自己のICカード103を挿入し(S114)、予約番号等のデータを入力する(S115)。

【0037】以上の処理がなされた後に、個人端末202または発券センタ側コンピュータ201はICカード103所持者の正当性の認証を行う(S105)。正当であると個人端末202が判断した場合(S106でYES)には、後述する処理により料金支払方法を選択する(S107)。一方、正当でないと個人端末202が判断した場合(S106でNO)には、ICカード103 ICカード201を排出し(S111)、処理を終了する。

【0038】S107において料金の支払方法の選択がなされた後に、発券センタ側コンピュータ201が料金を受け取った場合(S108でYES)には、個人端末202はICカード103のファイルを開く(S109)。そして、個人端末202はICカード103に予約されたイベントの日時、会場、対象イベントID、座席番号等のデータを書き込み(S110)、ICカード103を排出する(S111)。一方、S108において料金を受け取っていないと発券センタ側コンピュータ201が判断した場合(S108でNO)には、個人端末202はICカード103にデータを書き込むことなくICカード103を排出する(S111)。

【0039】図4のフローチャートは、上述した料金支払方法の選択処理(S107)を表している。このフローチャートにおいて、先ず個人端末202はICカード103の正当者認証を行い(S201)、ICカード103の所持者がICカード103の登録者であるか否かを判断する(S202)。ICカード103の登録者でない場合(S202でNO)には、予約を取り消した後(S210)、処理を終了する。ICカード103の登録者である場合(S202でYES)には、S203以降の処理を実行する。

【0040】S203において、予約者は、支払方法をプリペイド方式にするか否かを判断する(S203)。プリペイド方式にすると判断した場合(S203でYES)には、S204以降の処理を実行する。すなわち、

個人端末202がICカード103の認証を行った後、ICカード103から残高データを読み出す(S204)。そして、残高が足りていない場合(S205でNO)には、予約者はクレジット方式により料金の支払いを行うか否かを判断する(S211)。残高が足りている場合(S205でYES)には、予約者は個人端末202の画面で支払い金額等を確認する(S206、207)。この支払い金額等により料金の支払いを行うと判断した場合(S207でNO)には、個人端末202はICカード103に対して料金を差し引いた残高データ

を書き込み(S208)、処理を終了する。一方、S207でNOと判断した場合には、S203以降の処理を繰り返す。
【0041】予約者が支払い方法をアリペイ方式にしないと判断した場合(S203でNO)には、さらにクレジット方式にするか否かを判断する(S211)。支払い方法をクレジット方式にする場合(S211でYES)には、S212以降の処理を実行する。S212において、ICカード103の認証処理を行った後に個人情報を読み出し(S212)、後日、発券センタ側コンピュータ201は銀行側コンピュータ204を通じて口座から料金を引き落とす(S213)。一方、支払い方法をクレジット方式にしないと予約者が判断した場合(S211でNO)には、予約を取り消すか否かを判断する(S209)。予約者が予約を取り消すと判断した場合(S209でYES)には、発券センタ側コンピュータ201は予約の取消を行い、処理を終了する。予約の取消を行わない場合(S209でNO)には、さらにS203以降の処理を繰り返す。以上の処理により料金の支払い方法の選択がなされる。

【0042】上述した図3、図4の処理により、イベントの予約を行った予約者は、後日イベント会場にICカード103を持参し、イベント会場に備えられたイベント会場側コンピュータ205にICカード103を挿入する。イベント会場側コンピュータ205は、ICカード103のデータを読み取り、予約が正当になされたか否かを判断する。そして、正当であると判断した場合にのみゲートを開き、ICカード103持参者の入場を許可する。したがって、不正入場者はゲートを通過するこ

とができず、不正入場を未然に防止することができる。すなわち、ICカード103のデータを不正に書換えることにより不正入場を試みようとしても、鍵データ等を把握している者でなければICカード103のデータを読み取ることすらできない。これにより、不正入場を防止することが可能である。

【0043】

【発明の効果】以上説明してきたように、本発明によれば、正当者の認証等を行うことの可能なICカードを利用してイベントの予約を行うことにより、イベント会場への不正入場者を未然に防止することができる。また、イベント会場近辺での不正なチケットの売買等を防止することも可能である。

【0044】さらに、予約者は、自宅に設置された自宅側端末を用いて、自宅に居ながらにしてイベントの予約および入場料金の支払いを行うことができるため、イベントの予約に要する労力を軽減することが可能となる。

【0045】また、イベント主催者側は、予約等の取消等を通信回線により把握することができ、入場料金の払い戻し等の処理を容易に行うことができる。さらには、従来のチケット等と異なり、ICカードは繰り返し使用可能であるため、チケットを発行するのに要するコストを削減することも可能である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る興行場予約システムの概念図である。

【図2】本発明の一実施例に係る興行場予約システムのブロック図である。

【図3】本発明の一実施例に係る興行場予約システムの作用を表すフローチャートである。

【図4】本発明の一実施例に係る入場料金の支払い方法の選択処理を作用を表すフローチャートである。

【符号の説明】

103 ICカード(可搬型データ担体)

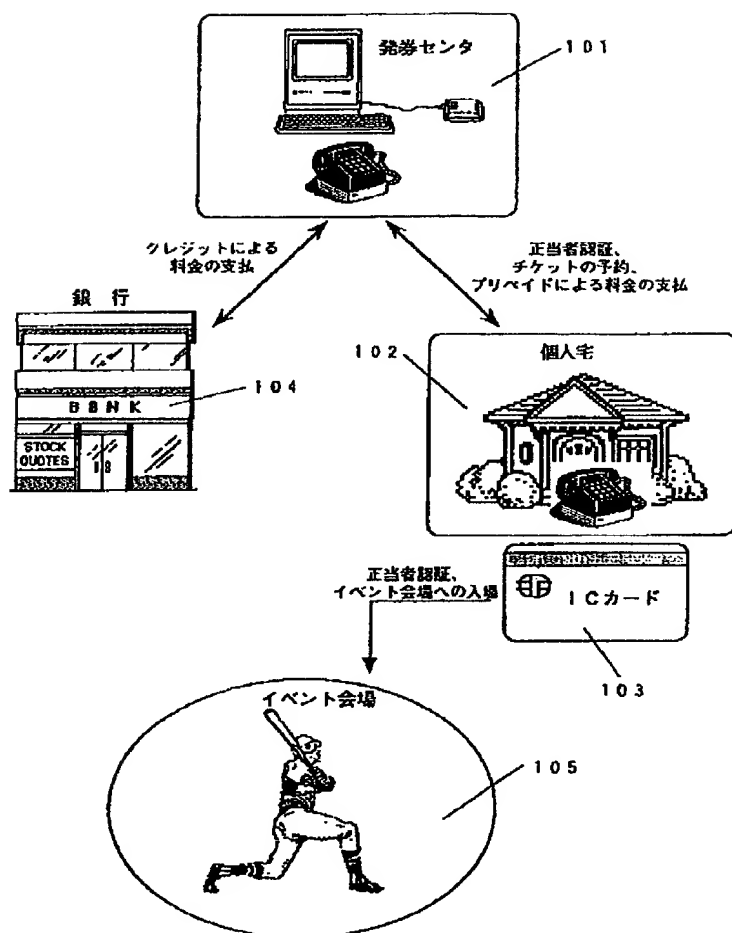
201 発券センタ側コンピュータ

202 個人端末

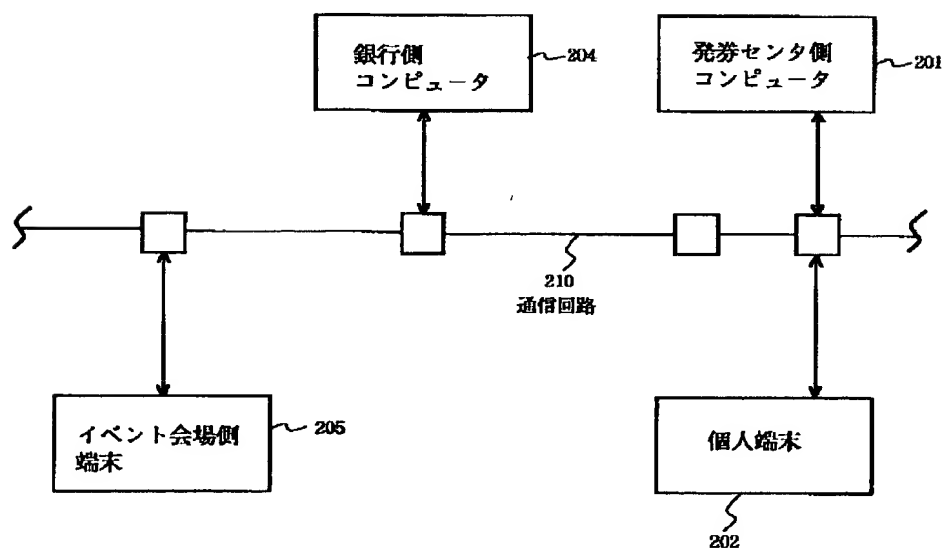
205 イベント会場側端末(興行場側コンピュータ)

210 通信回線(通信系)

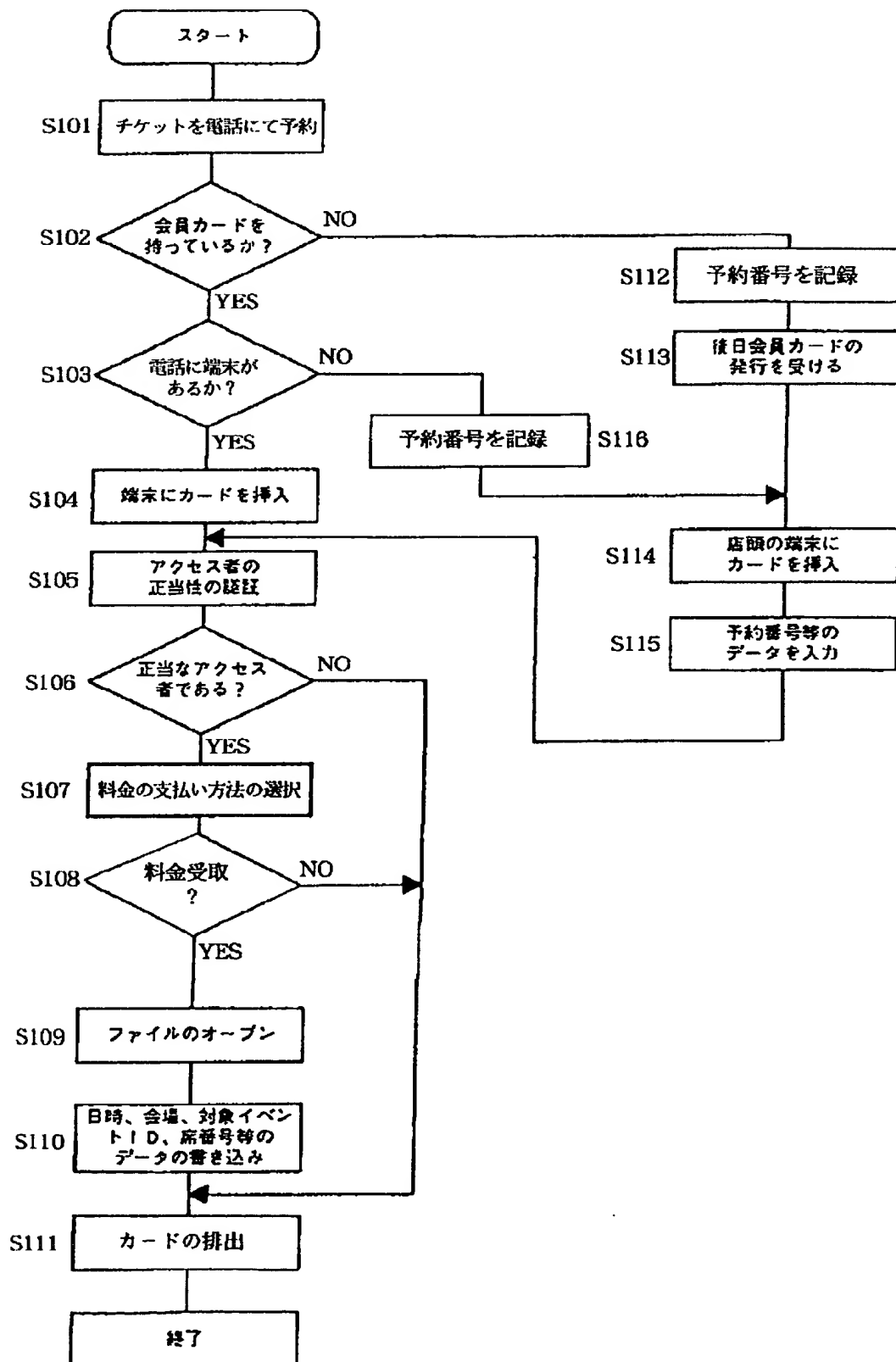
【図1】



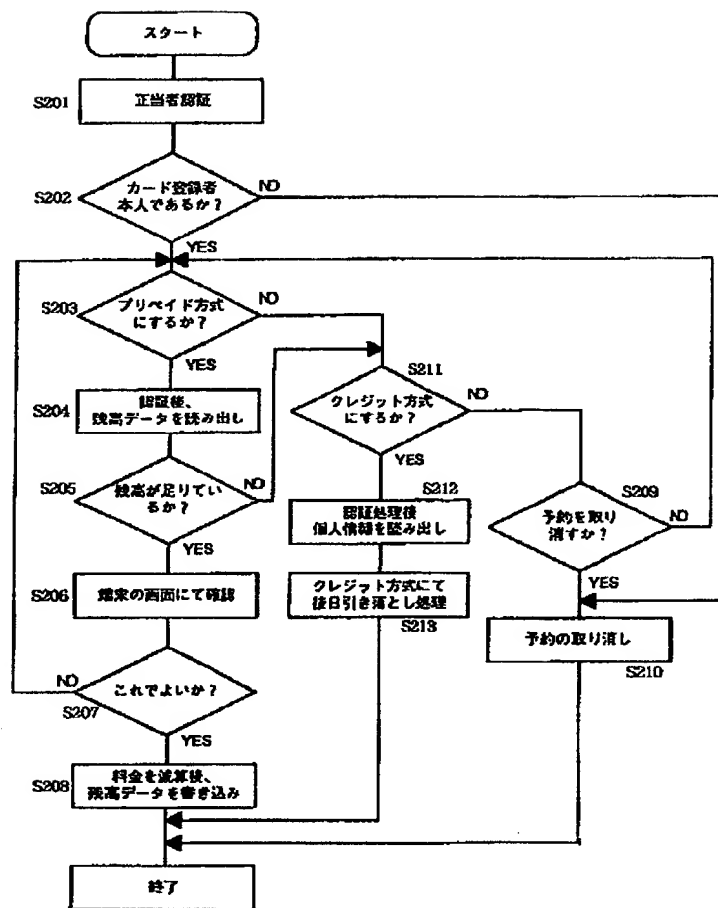
【図2】



【図3】



【図4】



CLIPPEDIMAGE= JP407271871A
PAT-NO: JP407271871A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07271871 A
TITLE: SYSTEM AND METHOD FOR RESERVING EVENT FIELD
PUBN-DATE: October 20, 1995
INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YURA, AKIYUKI

HIRANO, SEIJI

MATSUMURA, SHUICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

TOPPAN PRINTING CO LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP06085645

APPL-DATE: March 31, 1994

INT-CL (IPC): G06F019/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent the generation of illegal entrance to an event field and to reduce labor required for entrance to the event field or the reservation of a sheet.

CONSTITUTION: Entrance to an event is reserved from a personal terminal installed in a personal home 102 to a ticket issuing center 101 through a communication line. When the reservation is received, the terminal writes data expressing the reservation of the event in an IC card 103 and subtracts an entrance rate from the balance data of the card 103. Later, a reserver brings the card 103 to an event field and inserts the card 103 into an event field side computer. Only when data indicating a valid reservation are written in the card 103, the event field side computer opens a gate to permit the reserver to enter.

COPYRIGHT: (C)1995, JPO